

豊川市文詩集「えんぴつ」の発刊にあたり

豊川市文詩集「えんぴつ」は、令和三年度に大きく形を変えました。当初のねらいでは、一人一台のタブレット端末が配置され、ウェブ化することにより、授業の中や朝の読書の時間などでも、多くの作品を読むことができるようになる想定していました。しかし、さまざまな制約があり、決して使い勝手の良いものとは言えません。本年度の発刊にあたりましては、それを解消するまでには至りませんでした。が、少しずつ手を入れながら、より読みやすい形にしていきたいと考えております。

さて、令和四年度版の豊川市文詩集「えんぴつ」には、市内三十六校の小中学校の児童生徒の作品が掲載されています。小学校一年生から中学校三年生までの九年間の成長を、それぞれの作品から感じ取ることができると思います。何気ない日常のこと、心が大きく動いたこと、体験を通して感じたこと、じっくり観察したこと、不思議に思って調べたことが書かれています。書き手はどのようなことを伝えたいのだろうかと考えながら読んでいただければ幸甚です。

令和五年五月吉日

豊川市現職研修委員会国語部